

旭 森 幼 稚 園 の 特 色

基本的な生活習慣や態度の育成



近くには、亀甲山・鞍掛山・芹川があり、散歩・水遊び・木の実拾い・崖登りなど四季を通していろいろな体験をしています。



手洗いの歌に合わせて、楽しくきれいに手を洗っています。

畑で、ジャガイモ、タマネギ、サツマイモ、スナックエンドウなどの野菜を育て収穫の感動を味わっています。



自ら考え行動できる力をはぐくむ教育の推進



子ども達がやってみたいと思う遊びを、繰り返し挑戦したり、試したりできる場を大切にしています。

豊かな人とのかかわりや心情を培う

友達と仲良くし、思いやりの心をはぐくむため、先生や友達とかがわって遊ぶ場を大切にしています。



地域に開き、地域に応える幼稚園の創造



隣接している小学校や保育園の児童や園児と交流しています。

また、3歳の未就園児登園（サンサンランド）や毎週木曜日に希望者のみの親子ふれあい活動（ハートフルタイム）、各月の4・5歳児のお誕生児の保護者の方の子育てサロンなどを実施しています。

園 内 研 究

(1) 研究主題

人とかかわる力を培い、豊かな人間関係を育む

(2) 主題設定の理由

幼稚園は、子ども達にとってはじめての集団の場です。しかし近年、核家族化、少子化等による人間関係の希薄化は、子ども達が社会生活を営む上で大きな課題となっ
てきています。また、家庭や地域社会の教育力の低下により、子ども達のコミュニケーション能力はさらに深刻化してきています。幼稚園で出会う友達や様々な人達との
かかわりをとおして、子ども達が自分の存在感を感じとり、共感したり思いやりの気
持ちを育んだりしながら、他者との好ましいかかわり方や互いを尊重する態度などを
身につけることは、今とても重要になってきています。

そこで、幼稚園では集団生活や遊びの中で十分友達と触れ合ったり、葛藤したり、
お互いがのびのびと生活できる状況作りに努めることが必要です。そして、その中で
幼児一人ひとりが自分の感情や意志を豊かに表現したり、自分とはちがった様々な子
どもの存在に関心を持ち、共に楽しんだり、共感し合ったりしながら、人とかかわる
喜びや楽しさを十分に味わわせることが大切であると考えます。

そのためには、園内の環境はもちろんのこと、地域の自然環境を生かしたり、小学
生をはじめ様々な人達と交流をしたり、家庭では体験できない社会・文化・自然等に
ふれながら、豊かな出会いの場を大切に、子ども達が多様な経験や体験を、積み重
ねていくことが必要であると思います。

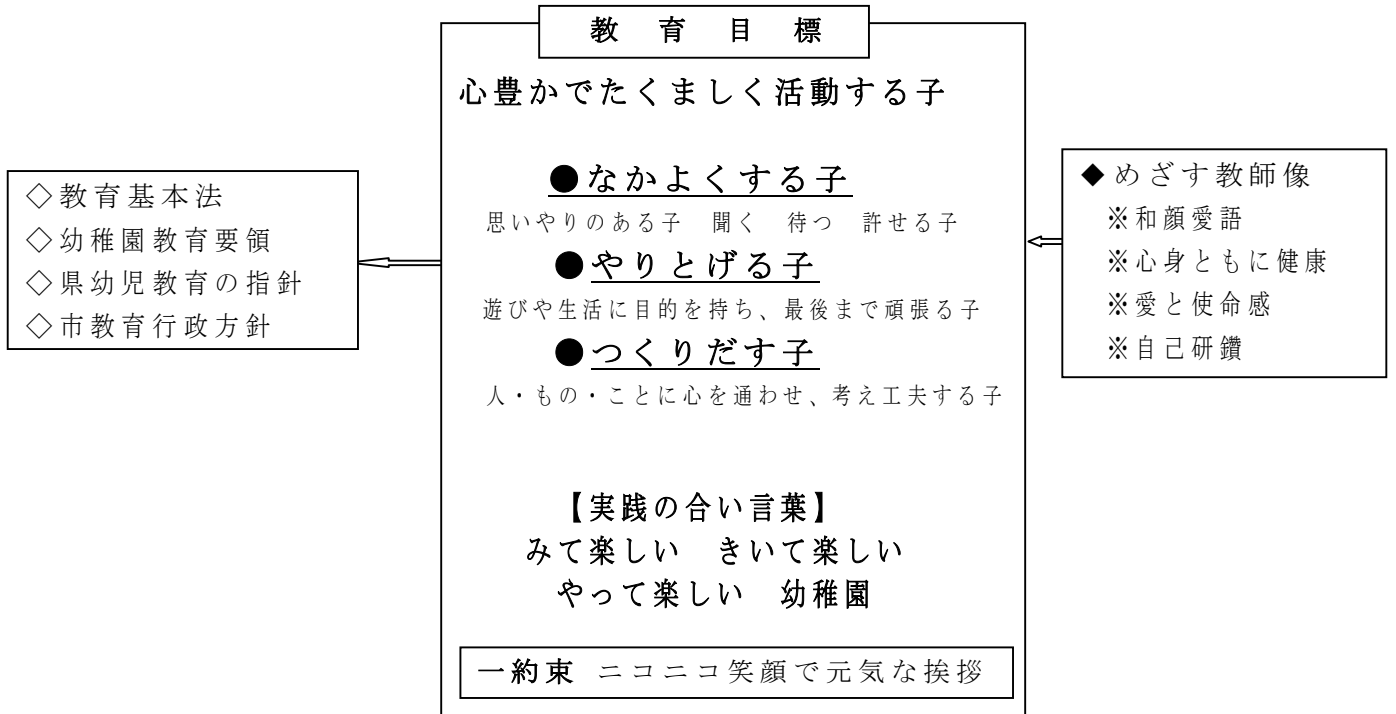
また、その中で、それぞれの発達の特性に応じた望ましい経験の場や、発達段階に
応じた活動の機会を工夫し、園の子ども達の実態を把握してコミュニケーション能力
と、豊かな人間性や人間関係の育成に努めたいと考えます。

(3) 研究内容

- ①園の子ども達の人間関係や、コミュニケーション能力について等の実態を把握する
ため調査をする。
- ②地域の自然や人材を生かし、保育に取り入れていく中で、豊かな体験を構想する。
- ③望ましい成長、発達に向けた保育内容の工夫と、家庭や、地域への働きかけを含
めて探求する。
- ④研究保育を通して個々の育ちや環境構成、援助のあり方を明らかにしていく。

旭森幼稚園経営管理全体計画

① 教育目標



② 教育推進の基本

